

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。桜が散り、新緑の装いが増す今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。連日のスポーツニュースを騒がしているのは、何といてもロサンゼルスドジャース所属の【大谷翔平選手】ですね。もうここまで来ると脱帽の思いで、私たち日本人の誇りとも思えます。4月24日（日本時間）敵地・ナショナルズ戦に『2番・DH』で先発出場し、9回先頭で今季2戦連発となる6号ソロホームランを放った。打球速度118.7マイル（約191キロ）、飛距離450フィート（137メートル）の球がスタンド2階席に飛んだ。

この衝撃の一発にはドジャースのロバーツ監督も『打球をあんなふうには打てるのはメジャーリーグの中でも数人しかいないだろう。まるで雷のようだった』とコメントした。これでホームランを打ったのがリーグ26球団目となり、日本人初の30球団制覇まであと4球団となりました。松井秀喜選手のリーグホームラン数を超えたのも驚きでしたが、その後もあっという間に次の記録に迫る勢いです。また大谷選手が素晴らしいのは、結果を出した後のコメントの謙虚さ、『皆様に支えて頂き、応援して頂いたおかげです』と素晴らしい姿勢で人間としても器の大きさを感じられました。私も常に謙虚な姿勢で、ご利用者様に寄り添おうと痛感致しました。時折、真夏のような気温の上昇で、寒暖差が激しい今日この頃ですが、皆様くれぐれもご自愛ください。

サンライズの物語

できなくなったことより、今できることを——
幸せについて考える物語

その方は、お姉さまと二人で質素に暮らしていたかたでした。そんな時自宅で突然お姉さまが倒れ入院後永眠してしまったのです。

一人になり通所介護や訪問介護を利用しながら生活をしていましたが、誰にも感謝の言葉を口にして関わる方々に愛されていたのです。

そんな時訪問看護が訪問するとトイレの前で倒れていたのです。寒い時でしたので一晩中助けを呼べずにいた事もあり低体温症となってしまいました。

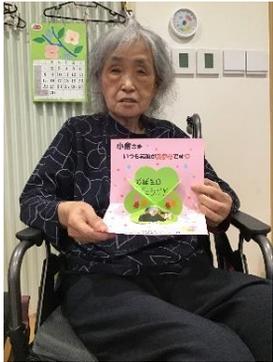
緊急搬送され大腿骨頸部骨折との診断。入院後施設への入所となったのです。以前ご本人様が言っていたことは「皆さんに迷惑ばかりかけている事が心苦しい。自分は何の為に生きているのか」と訪問する度に話されていました。

いつも人に迷惑をかける事を心配され最小限の生活を質素に過ごしていた方からの言葉が胸に突き刺さりました。

年を重ねれば、できない事が増えることは万人に訪れることです。できなくなった事ばかりを連ねて嘆くより、今できる事を幸せに思うことこそが大切ではないでしょうか。できないことを頼むのは迷惑ではなく、助けて貰うことだと解釈し「ありがとう」「お願いします」この二つの言葉さえ忘れなければ力になってくれる人は沢山いると思うのです。

そんな素敵な年の取り方をしたいと願うばかりです。

サンライズのデイサービス陽光だより



誕生日



誕生日カードを差し上げおやつで手作りパンケーキをお出ししました。皆さん「ありがとう」「美味しい」と言って喜んで召し上がられていました。



5月カレンダー工作

各自、折り紙で鯉のぼりと兜を作り、貼り付けてカレンダー工作をしました。



アイスクリームで楽しく栄養補給♪お年寄りも、ダイエットや筋トレ中の人も！新潟市・開志専門職大学の学生の企業「LacuS」が開発、家族の介護体験から着想

開志専門職大(新潟市中央区)の学生が設立した食品企業「LacuS」(ラコス、新潟市中央区)が、タンパク質、カルシウムなど33種類の栄養素を配合したアイスクリーム「Me ICE」(ミーアイス)を開発し、販売している。家族の介護体験から着想し、介護現場の意見を取り入れて試行錯誤した学生らは「おやつでも食事でも、楽しく食べて栄養を取ってほしい」とPRしている。

ラコスは、開志専門職大4年の古津瑛陸(えりく)さん(22)＝長野県上田市出身＝が2022年3月、大学の仲間らと設立した。古津さんが代表取締役最高経営責任者(CEO)を務める。

設立当初は食品ロス対策への貢献を目指し、さまざまな事業に取り組んでいた。だがある時、曾祖母を介護していた古津さんの祖母から「飲み込みやすいように具材を細かくし、とろみをつけなくてはいけない」と介護食を作る苦

労を聞き、介護食に関心が芽生えたという。

検討を重ねた結果、「高齢者だけでなく誰でも食べやすい」として栄養豊富なアイスの開発を決意。食品研究者や管理栄養士ら、起業を通じて出会った人のほか、大学と関わりのある介護施設などの協力を得て開発を進めた。

「甘みがほしい」「口にしつこく残らない方がいい」などの声を参考に、約1年間で試作品を「60、70種類くらい作った」(古津さん)。最終的に抹茶、チョコレート、きな粉の3種類を開発し、3月中旬から東京都内のデパートとインターネット上で販売を始めた。

月間の売り上げ目標は5千個。発売から1カ月が経過し、順調に推移しているという。

ミーアイスは栄養が豊富で甘みがあり、ラコスではダイエット中の人や、体を鍛えている人にも勧めている。今後は味の種類をさらに増やし、アイス以外の食品も開発する予定だ。

古津さんは高校時代、著名な起業家

の本を読み感銘を受け、起業を志した。社名のラコスはラテン語で「リンゴ」を意味する。

リンゴの木は勢いよく成長することから「企業として早くたくましく成長し、立派な果実を实らせたい」と願いを込めた。現在は学生ら8人で上場を目指し、営業や商品開発に励んでいる。

「ミーアイス」は1個100ミリリットルで498円。インターネット通販では6個セット2988円(いずれも税込み)で販売中。問い合わせはラコスのホームページで受け付けている。



<新潟日報 24/4/23 (火) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>